

平成26年度 家庭科の授業改善のための方針

1 昨年度の成果と課題（成果☆ 課題●）

☆日常生活に必要な知識や基礎的な技能を身につけることができた。

☆製作や実習に根気強く取り組み、自分が納得できるように完成させた。

☆食事の重要性や食品の栄養に関心を持ち、学習した食事栄養知識を自分の生活に生かすようになった。

☆互いに協力しながら、製作や実習に取り組み、互いの良さを認め合うことができた。

●学習してきたことを、年間通して継続して実践する態度を養う必要がある。

●自分の生活だけでなく、家族や地域の人たちとよりよい生活を送れるように、さらに家庭科の学習を深めていく必要がある。

2 今年度の児童の実態

①製作や実習に興味をもち取り組んでいる。

②学習しようとする意欲的な態度で授業に臨んでいる。

③生活体験や技能の個人差が大きい。

3 今年度の方策

① 授業中の指導

- ・基本的な知識・技能を習得するために、体験的・実践的な活動を取り入れる。
- ・学習したことを家庭で生かし、調理したり製作したりしたものを報告し、共有化する。
- ・ワークシートなどを活用し、個々の意欲・技能を見取り、個に応じた指導をする。
- ・家庭科室の教材用具等を整備し、学習環境を向上させる。

② 全校での指導

- ・製作したものを生活で使っている様子を提示する。
- ・「衣・食・住」への話題を提供し、家庭生活への関心・意欲を高める。
- ・家庭科に関するポスターを校内に掲示し、意欲を高める。
- ・家庭科室の活用を奨励し、他教科や日常生活と家庭科学習への結びつきを啓発する。
- ・お便りにより、授業の様子を家庭へ知らせ、理解・協力を図る。

4 学年毎の重点目標

| 学年 | 重点目標 |
|----|---------------------------|
| 5年 | ・家庭での実践する機会を設定し、互いに交流を図る。 |
| 6年 | ・話し合い活動も取り入れながら、興味関心を高める。 |